

ライセンス制度の各級付与の期限などについて

一般社団法人全日本野球協会
アマチュア野球規則委員会

1. ライセンス制度の各級の付与期限

- H27年4月に開始されたライセンス制度の1級から3級までは、各都道府県の審判員組織が付与しているが、これは3年間(H30年3月末まで)の暫定処置としていた。
- H30年4月から1級および2級の認定講習(昇級試験)が開始されることから、国際から3級までのすべての級が、認定講習を受講して昇級(資格取得)することになる。
- このため、H30年4月以降にライセンスを新規に取得する審判員は、そのキャリアなどに関係なく、3級認定講習を受講して3級からスタートすることになる。

2. 国際審判員の状況(H29.12.31現在)

(1) 国際審判員(29人)の都道府県別人数(登録連盟の所在地)

秋田県：1人、岩手県：1人、福島県：1人、茨城県：2人

東京都：8人、千葉県2人、埼玉県1人、神奈川県：1人

新潟県：3人、長野県：1人、石川県2人、福井県1人、大阪府：1人

山口県：1人、徳島県：1人、福岡県：1人、鹿児島県：1人

女性国際審判員見習い扱い：3人

※ ライセンス制度の主目的の一つである「居住地に関係なく、優れた審判員が国際大会に派遣される」ということが実現しつつある。

(2) 国際大会派遣実績

① H28年度

WBSC U-23：1人、U-15：1人(ローカルアンパイア6人)、女子：1人

BFA U18：1人、U12：1人、

その他 日米大学野球(日本開催)：5人

② H29年度

WBSC U-18：1人、U-12：2人

BFA U-15：1人(ローカルアンパイア6人)、U12：2人、

アジア選手権：1人、女子野球アジアカップ：2人

その他 日米大学野球(米国開催)：1人、エバーシールド：2人

※ H29年度から日本で開催される大会のローカルアンパイア(開催国枠の審判員)も国際審判員から選出することとした。

以上